

麻酔科を受診される患者さんへ

研究に対するご理解・ご協力のお願い

さいたま市立病院では、以下の臨床研究を実施しております。本研究は、通常の診療で得られた記録を調べるもので、本研究に参加されることによる患者さんへの新たなご負担は一切ありません。ご自身が本研究の対象者にあたると思われる方の中で、ご質問があります場合、または本研究に『ご自身の診療情報を使ってほしくない』とお思いになられる場合は、後述の「問い合わせ先」までご連絡をお願いいたします。

【対象となられる方】

2021年9月から2024年3月までの間に、麻酔科術前診察を受診されたすべての方の内、手術後の悪心・嘔吐に対してオンダンセトロンを使用された方。

【研究課題名】

「術後悪心嘔吐に関するオンダンセトロンの効果について」

【主任研究者】

さいたま市立病院 薬剤科 主査 小田切正昭

【目的】

術後悪心・嘔吐（postoperative nausea and vomiting；PONV）は、術後合併症のなかで最も頻度が高く、早期経口摂取ならびに離床の妨げとなり、患者さんの大きな苦痛となっています。PONVはその発生要因が様々で、発生機序も明らかになっていないため、有効な治療薬はありませんでした。しかし、本年、新たな医薬品、オンダンセトロンが保険適用されました。

本研究では、当院で手術治療を行った患者さんの診療記録から、上記薬剤使用後の悪心・嘔吐に関わる情報を抽出・検討することで、PONVにどの程度の効果があるのかを明らかにすることを目的としています。

本研究の結果から、術後経過に対する患者さんの満足度の向上に役立つ情報が得られると考えています。

【利用するカルテ情報・資料】

年齢、性別、既往歴、麻酔チャート、看護記録等

【研究期間】

倫理委員会承認後より 2024年3月31日までを予定しております。

【個人情報の取り扱い】

本研究で収集する患者さんの診療情報は、「個人情報管理者」が責任を持って匿名化（どの患者さんの情報であるかが直ちに判別できないよう、加工又は管理されたもの）データとした上で、解析を行います。患者さん個人と匿名化データを結びつける「対応表」は、当院内の鍵のかかる場所で厳重に保管・管理し院外への持ち出しは行いません。本研究の結果は学術集会「日本臨床麻酔科学会、日本麻酔科学会」において公表することを予定しておりますが、その際にも、個人の特定ができないように十分配慮した形で行います。また、本研究のデータは、研究終了後に匿名化のまま廃棄します。

【問い合わせ先】

ご自身の情報が研究に使用されることについてご了承いただけない場合や、途中で研究の対象から除外して欲しいとのご希望があります場合は、研究対象とは致しませんので、遠慮なくお申し出ください。ご協力いただけない場合でも、患者さんやそのご家族の方が病気の治療を行う上で不利益を受けることはありませんのでご安心ください。

本研究に関するご質問、お問い合わせがあります場合、またはご自身の診療情報について開示・訂正のご希望があります場合には、下記連絡先までお問い合わせください。

皆様のご理解、ご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。

連絡先

さいたま市立病院 薬剤科 主査 小田切正昭（個人情報管理者・研究責任者）
〒336-8522 埼玉県さいたま市緑区大字三室 2460 番地
電話：048-873-4111（代表） FAX：048-873-5451